



# すまいる



朝夕、めっきり冷え込むようになりました。保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。さて、私は、特別支援教育コーディネーターとして、保護者様とお子様のよりよい育ちのお手伝いとして『教育相談（保護者面談）』を行っています。（4月から10件）教育相談（保護者面談）を行う度に、改めて保護者の皆様の子どものことを思う気持ちを感じました。

そこで今回は、子どもの話を『きく』ということについて話します！



## 『聞く』と『聴く』 皆様は、どちらですか？

こんなことは、ないですか…

子ども : お母さん、今日さ、俺Aくとけんかしたとさ。  
Aくんの方から、叩いてきたとに俺が悪いって  
周りの友だちは言うよ。やっちゃ悔しか。



お母さん : 何ば言いよと。けんかはけんかさ。あんたも悪かっさ。

子ども : もうよか！お母さんはいっちょん、俺の話ば聞いてくれん！！

いかがですか？ お母さんは、子どもの話を 聞いた と思い、子どもは聞いてないと思う…この差が生じてしまいます。

子どもは、一番大好きな人に、自分の気持ちに寄り添ってもらい、そうすることで安心感を得ています。では、どうすればよいのか？



### ポイント まずは、子どもの気持ちを受け止める

一番簡単な方法は、子どもの言葉を繰り返すことです。

「そうね。悔しかとね。」

この一言で、子どもはほっとします。

そして、次に話すお母さんの言葉にも、耳を傾ける用意ができます。

「悔しかったけど、順番に話してごらん。Aくんの腹立つ何かあったとじゃなかと？」



子どもの気持ちを受け止める =

共感する！

共感することで、『聞く』→『聴く』になるのではないかと思います。何かと忙しい毎日ですがちょっと心にとめていただくと幸いです。

※教育相談をご希望される場合は、学級担任の方へご連絡ください。

子どもたちのより良い育ちを、  
学校・家庭・地域でサポートしていきましょう。

“みんなちがってみんないい” ※出典「私と小鳥と鈴と」 金子みすゞ